

ごみは生まれかわる!



解説

- ★せっかく集めた資源物も種類ごとに分けていないとリサイクルできません。リサイクルの基本である「分別」の大切さにも気付かせてください。
- リサイクルできない紙類、布類、食品トレイを燃えるごみとして出した場合は、焼却施設で焼却する際の熱を有効利用した発電(ごみ発電)に使われます。

3 紙ごみをへらそう!

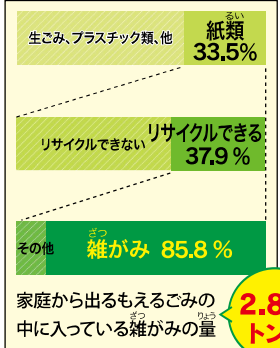
新聞、段ボール以外のリサイクルできる紙のことを「雑がみ」といいます。ごみとして捨てられている雑がみをリサイクルすることで、紙ごみをへらすことができます。



雑がみをへらすとごみの量がへったよ



令和5年度
もえるごみの量 約25万4千トン



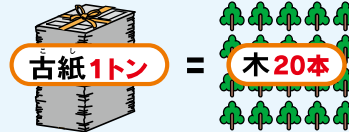
2.8万トン!

古紙は3分別でリサイクル!

- ・新聞(折り込みチラシも)
- ・段ボール
- ・雑がみ

パンフレット
お菓子の箱
ティッシュの箱
はがき・ふうとう
トイレットペーパーのしん
紙袋

古紙を1トンリサイクルすると、紙を作るために使う木20本分を切る必要がなくなるとわれています。



紙ごみをへらしたり古紙をリサイクルしたりすることが、自然を守ることにつながるんだね!



地域の集団回収を利用しよう!



令和5年度は、地域の集団回収やリサイクルボックス、区役所での回収などにより、約2万1千トンの古紙が集まりました。

古紙2万1千トンは、紙を作るための木、約42万本分にあたります。

紙ごみをへらすポイント

1. ノートは最後のページまで使う
2. プリントなどの裏紙もメモ帳がわりに使う
3. ふせんなどの小さな紙もリサイクルする

解説

- ★家庭から出るごみの中にはたくさんの紙ごみがあることに気付かせてください。
- 古紙1トンは直径14cm×長さ8メートルの丸太20本分に相当するとされています。